

松浦議員の行政視察報告3

3日目は、徳島県三好市でサテライトオフィス(注)誘致の取り組みと、高知県高知市の中心市街地の活性化について視察しました。三好市は、平成18年に4町2村が合併して誕生しました。合併後8年間で人口の約14%が減少、高齢化率は40%を超え少子高齢化が深刻でした。面積の87%が林野で平地が極端に少なく、河川の浸水域という町です。平成25年に徳島県が企画したサテライトオフィ



利用される小学校校舎

スプロジェクトツアーに東京などから参加した企業関係者に、三好市の支援策、とりわけ充実した情報通信設備を説明し、自然やラフテイニング、食べ物など三好市の魅力に触れてもらう。

また、旧廃校となった小学校校舎や民間の空き家など遊休施設を活用して活気が戻ってきている、とのことでした。担当者から「仕事はデジタル、暮らしはアナログ」は明言で、地域の条件をいかに生かすかの知恵を感じました。(注)通勤による混雑が激しい都市部を避けて、自社の本拠で行う業務と同等の仕事ができるように情報通信設備を整えた勤務者の自宅により近い場所に立地したオフィスのこと。

高知市は、中心市街地での居住人口の減少と来街者の減少(通行者が17%減少)を把握して、この状況を改善するためには何が必要か具体的に対策と活性化の目標をたてて様々な施策を講じていました。例えば、空き店舗対策では新規創業または事業拡大するものに対し、店舗賃借料の一部補助を行うことで空き店舗の解消をしているなど、参考になる取り組みでした。視察で学んだことを議会活動に生かしたいと考えています。

『戦争法廃止』の署名にご協力ください！
6月30日を目標期限にしています。

14日から市議会第2回定例会

6月22日公示、7月10日投票日となりました。しかし、市議会第2回定例会は6月14日、23日までの日程で開かれ、一般質問は21日、23日まで行われますので、公示日は一般質問の真ただ中ということになります。

23日以降は、参議院選に全力投入になりますが、今回の参議院選挙は安倍暴走政治を打ち倒す戦いです。「自民・公明の与党とそれを補完する勢力」対「野党共闘+市民連合」の歴史上はじめての戦いとなります。私も共産党員になって43年になりますが、これほどわくわくする選挙は初めての経験です。野党共闘の要の役割を果たす日本共産党が大きく躍進することが求められます。

北海道選挙区では森つねとさん、比例代表は日本共産党と書いて下さる方をたくさん増やして北海道から議席を勝ち取りたいと決意しています。

松浦奮戦メモ



参議院選挙の日程が

- 松浦議員の一般質問の項目は次の通りです。
- ☆住環境改善補助金制度(住宅リフォーム助成)について
 - ① 関連業者への制度説明の状況について
 - ② 助成限度額について
 - ③ 経済波及効果について
 - ☆通学路の安全確保について
 - ① 網走市通学路交通安全プログラムについて
 - ☆国民健康保険料について
 - ① 保険料の軽減について
 - ② 賦課限度額について
 - ③ 都道府県を軸に市町村との共同事業化について
 - ☆介護保険について
 - ① 新「総合事業」について
 - ② サービス提供のあり方について
 - ③ 協議体の設置について
 - ④ 窓口担当者について

流水

私が党に入ったのは60余年前になる。思い返せば当時世間の風潮は「共産党は怖い、アカだ」といって特別な人間の集まりのように思われていたので入党するのに覚悟がいった。だが「労働者や弱者の味方」「戦争に反対した唯一の党」の一員だと誇りを胸に秘めていた▼当時党はそう遠くない時期に民主革命をしようとしていたが度重なる弾圧が激しく、なかなか思うように運動は進まなかった。党が掲げた目標「国民が主人公」「反戦平和」などの政策は握って離さず運動を続けてきた。その結果、今は国会議員32名を持つ党に発展した▼昨年からは起こった安倍内閣の独裁政治と戦争法を辞めさせようとする市民の声のうねりは日を追うごとに大きくなっていく「政治には関係ないわ」とか「選挙に行っても何も変わらない」と言っていた人たちが安保护法が通って急に戦場が身近かに寄って来た。暴走を許してはならない「自分たちの政治を自分たちで担う。主権者は私たち」の思いが日本中に広まってきている。▼作詞家のなかにし礼さんは「元気を奪い、死へと導く政府から日本を取り戻さなくちゃ」と病後の身にムチ打って訴えている▼入党当時の夢の民主革命は今、新しく広範な人たちの手で「国民連合政府」へと道を開き安倍政権に代わる国民主権の政府を作ろうとしている (U)